

# 取扱説明書

# *ProLite*

## LCD Monitor



*ProLite X3272UHS*

**重要**

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

## 警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

|   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |


## VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら販売店までご連絡ください。

|  |   |
|--|---|
| <b>愛情点検</b> 長年ご使用のモニタの点検を！   |   |
|  | <b>ご使用の際このようなことはありませんか</b>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。</li><li>●キャビネットが異常に熱い。</li><li>●煙が出たり、こげくさい臭いがする。</li><li>●使用中に異常な音や振動などがある。</li><li>●その他の異常や故障がある。</li></ul> |
|  | <b>ご使用を中止してください</b>   |
|  | 故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。<br>点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。   |

# もくじ

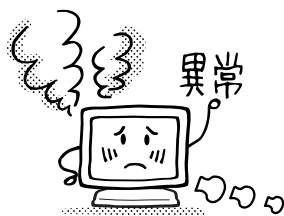
|                     |    |
|---------------------|----|
| 安全にご使用いただくために ..... | 1  |
| ご使用の前に .....        | 6  |
| 特長 .....            | 6  |
| 標準付属品 .....         | 6  |
| 壁かけでご使用する場合 .....   | 7  |
| 各部のなまえ .....        | 8  |
| コンピュータとの接続 .....    | 9  |
| コンピュータの設定 .....     | 10 |
| パネルの角度調節 .....      | 10 |
| 操作手順 .....          | 11 |
| 調整メニューの内容 .....     | 12 |
| パワーマネジメント機能 .....   | 19 |
| 故障かなと思ったら .....     | 20 |
| クリーニング .....        | 21 |
| アフターサービス .....      | 22 |
| 保証書／保証期間について .....  | 22 |
| 修理サービス .....        | 22 |
| リサイクル／廃棄について .....  | 22 |
| 付録 .....            | 23 |
| 一般仕様 .....          | 23 |
| 外形寸法図 .....         | 24 |
| 対応信号タイミング .....     | 24 |



# 安全にご使用いただくために

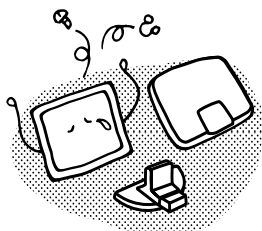
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

## 警告



### 万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



### キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



### 異物を入れない

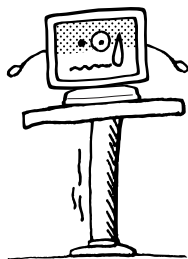
モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



### 花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

## 警告



禁止

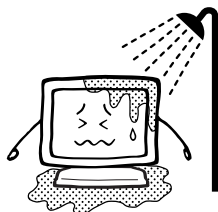
### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを  
抜く

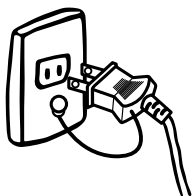
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での  
使用禁止

### 水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを  
接地する

### 電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

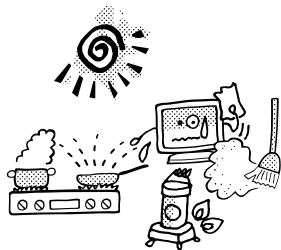


接触禁止

### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

## 注意



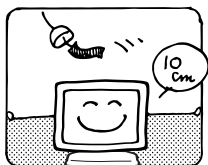
禁止

### 置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

### 通風孔をふさがない



禁止

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

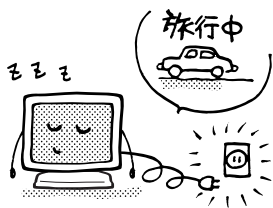
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。



禁止

### 移動させるときは、外部の接続コードをはずす

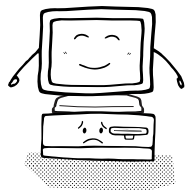
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

### 旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

### コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

## ⚠ 注意



指示に従う

### プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

### ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



指示に従う

### 手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。
- 高さ調節の際、パネル下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢い良く下げないでください。（高さ調節機能付の機種をご使用のとき）



指示に従う

### 24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておりませんので、24 時間連続して使用しないでください。



## 正しくご使用いただくために

### 目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

### 故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
  - ・画面の表示パターンを変える。
  - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

# ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 特長

- ◆ 最大 3840 × 2160 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 3000:1(標準), Adv. コントラスト機能有 / 輝度 300cd/ m<sup>2</sup> (標準) / 応答速度 3ms (グレー↔グレー)
- ◆ フリッカーフリー対応
- ◆ ブルーライト軽減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ ステレオスピーカー内蔵  
2W + 2W 出力のステレオスピーカー内蔵。
- ◆ プラグ & プレイ VESA DDC2B 対応  
Windows® 7/8.1/10 上でプラグ & プレイに対応しています。
- ◆ 省電力設計  
パワーマネージメント機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

日本語

## 標準付属品

モニター本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード\*
- HDMI ケーブル
- DisplayPort ケーブル
- ヘッドフォンフック
- セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書

## 補足

\* 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

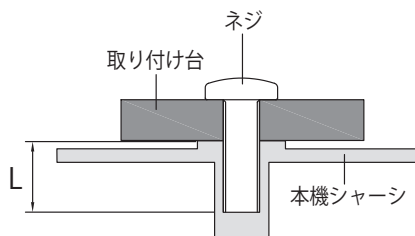
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

- 付属以外の電源コードをお使いになる場合
- 日本以外の国でお使いになる場合

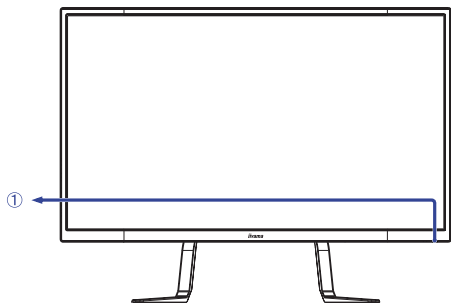
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

## 壁かけでご使用する場合

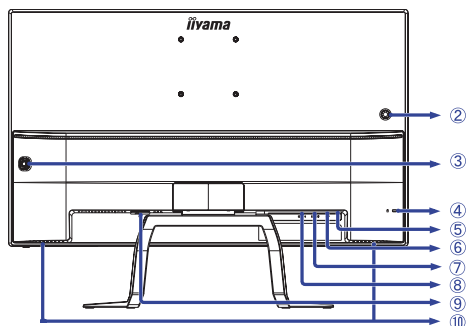
- 壁かけでご使用する場合は、取り付け台の厚さを考慮の上、L部の長さが9mmとなるM4 ワッシャー付ネジを使用して、しっかりと固定してください。指定の長さを超えるネジを使用すると、モニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。
- 壁や天井に取り付ける前に、モニタの重量を支えることができるか確認してください。



## 各部のなまえ



前面



後面

### ① 電源インジケータ

**補足** 白色点灯：通常動作時

橙色点灯：パワーマネージメント時

### ② ヘッドフォンフック\*

### ③ コントローラーボタン

電源ボタン / メニューボタン

スクロールアップボタン (▲)

スクロールダウン / ECO モードボタン (▼)

左 / 入力切替ボタン (◀)

右 / オーディオ調整ボタン (▶)

### ④ 盗難防止ロック用ホール

**補足** 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

### ⑤ ヘッドフォンコネクタ (♯)

### ⑥ DisplayPort コネクタ (DP)

### ⑦ HDMI コネクタ (HDMI2)

### ⑧ HDMI コネクタ (HDMI1)

### ⑨ 電源コード接続コネクタ (～:交流)(～)

### ⑩ スピーカー

\* 必要に応じて付属のヘッドフォンフックを取り付け、回して固定します。



### 警告

■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

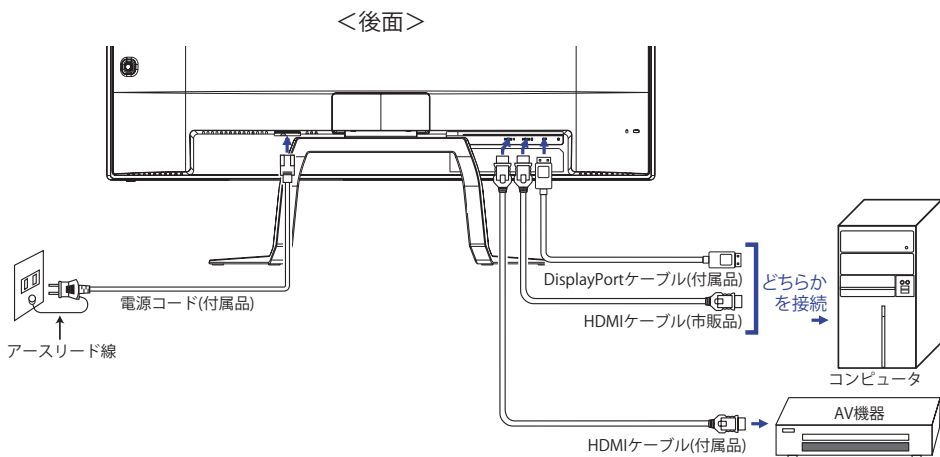


### 注意

- アースリードをコンセントに挿入、接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

- ① モニターおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② HDMI ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを、モニターとコンピュータに接続します。  
**補足** ■ 1 台のコンピュータに HDMI ケーブルと DisplayPort ケーブルを一緒に接続しないでください。不具合が発生することがあります。
- ③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は HDMI ケーブルをモニターと AV 機器に接続します。
- ④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑤ モニターおよびコンピュータの電源を「ON」します。
- ⑥ モニターを「OFF」にするには、メニューが表示されていないときに電源ボタンを 3 秒間押し続けます。

### [ 接続例 ]



## コンピュータの設定

### ■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.24「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

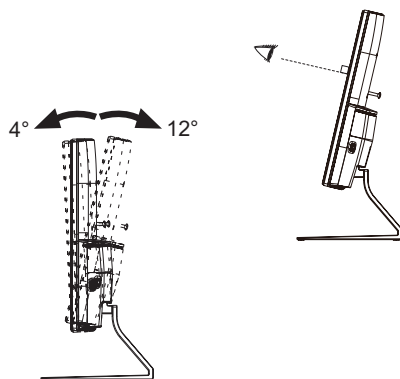
## パネルの角度調節



### 注意

- 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

- 液晶モニターは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。
- 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。
- 調節範囲は上方向 12°，下方向 4° です。
- 画面の角度は 10° 以内にすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。



# 操作手順

P.24の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

メニュー画面の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

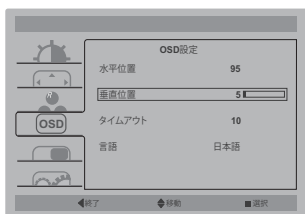
- ① MENU ボタンを押すと、メニュー画面 (OSD) が表示されます。▲/▼ ボタンでメニューページを送ります。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、MENU ボタンを押します。▲/▼ ボタンで調整する項目を選択します。
- ③ 再び MENU ボタンを押し、◀/▶ ボタンを使って調整や設定を行っていきます。
- ④ ◀ ボタンを押して終了します。

メニュー画面が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば OSD の垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の OSD 設定を選択し、MENU ボタンを押します。次に ▲/▼ ボタンで 垂直位置を選択し、MENU ボタンを押します。調整画面が表示されますので、◀/▶ ボタンでお好みの画面に調整します。

















最後に ◀ ボタンを押して終了し、設定の記憶をします。

- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、「OSD タイムアウト」の設定時間後にメニュー画面が消えます。また、◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻り、メニュー画面を消すことができます。
  - メニュー画面が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。

## 調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

|  輝度<br>Luminance   |  |  |
|--|---|--|
| 調整項目   | 画面の状態 / 調整ボタン   |  |
| コントラスト<br>Contrast   | 弱すぎる<br>強すぎる  |  <br>          |
| 輝度 * <sup>1</sup><br>Brightness  | 暗すぎる<br>明るすぎる   |  <br>          |
| i-Style Color * <sup>2</sup><br>i-Style Color  | 標準 Standard   | 標準   |
|  | テキスト Text   | 文章を作成するときなどに最適です。  |
|  | インターネット<br>Internet   | インターネットを使用するときなどに最適です。   |
|  | ゲーム Game  | ゲームをするときなどに最適です。   |
|  | ムービー Movie<br>スポーツ Sports   | 映画を鑑賞するときなどに最適です。<br>スポーツを観戦するときなどに最適です。   |
| Adv. Contrast * <sup>3</sup><br>Adv. Contrast  | オフ Off  | 標準   |
|  | オン On   | コントラスト比を改善します。   |
| <b>補足</b> Adv. Contrast とは映像に応じて明るさを調節し、動画再生時にコントラスト比を改善する機能です。Adv. Contrast 機能使用時は、コントラスト、輝度、色温度、エコモード、i-Style Color、Blue Light Reducer の調整、選択はできません。 |   |  |
| Overdrive * <sup>4</sup><br>Overdrive  | オフ / -2 / -1 / 0 / +1 / +2<br>レベルが上がると応答速度が速くなります。                                |  <br>  |

\*<sup>1</sup> 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。エコモードが有効の時は、輝度が無効になります。

\*<sup>2</sup> Blue Light Reducer が有効の時は、i-Style Color の調整、選択はできません。

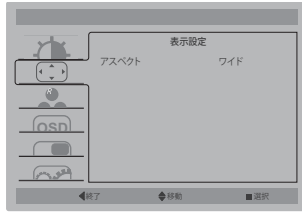
\*<sup>3</sup> PIP 設定が有効のときは、Adv. Contrast は無効になります。

\*<sup>4</sup> レベル (Mode) によって残像が残る場合があります。





## 表示設定 Image Setup



| 調整項目                  | 画面の状態 / 調整ボタン |                          |
|-----------------------|---------------|--------------------------|
| アスペクト<br>Aspect Ratio | ワイド Wide      | 拡大表示                     |
|                       | 4 : 3         | すべての画像を 4 : 3 のアスペクト比で表示 |
|                       | 5 : 4         | すべての画像を 5 : 4 のアスペクト比で表示 |

色温度\*  
Color Temp.

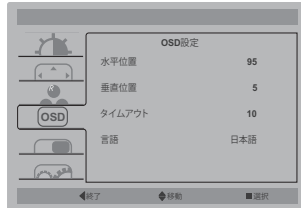


| 調整項目               | 画面の状態 / 調整ボタン |                            |
|--------------------|---------------|----------------------------|
| 色温度<br>Color Temp. | クール Cool      | やや青みがかったホワイト               |
|                    | ノーマル Normal   | やや黄みがかったホワイト               |
|                    | ウォーム Warm     | やや緑がかったホワイト                |
|                    | sRGB sRGB     | sRGB                       |
|                    | ユーザー<br>User  | 赤 Red<br>緑 Green<br>青 Blue |

**補足** ■ sRGB とは、機器間の色再現（色彩、彩度等）の違いを規定・統一した国際規格です。  
 ■ sRGB モードでは、コントラスト、輝度、i-Style Color、エコモードが固定値となり調整できません。

\* Blue Light Reducer が有効の時は、色温度の調整、選択はできません。

## OSD OSD 設定 OSD Setup



| 調整項目                | 画面の状態 / 調整ボタン                     |          |            |          |
|---------------------|-----------------------------------|----------|------------|----------|
| 水平位置<br>H. Position | OSD が左によってる                       |          |            |          |
|                     | OSD が右によってる                       |          |            |          |
| 垂直位置<br>V. Position | OSD が下によってる                       |          |            |          |
|                     | OSD が上によってる                       |          |            |          |
| タイムアウト<br>Timeout   | 5 ~ 100 秒までの間で OSD のオフタイマーを設定します。 |          |            |          |
| 言語<br>Language      | English                           | 英語表示     | Italiano   | イタリア語表示  |
|                     | Français                          | フランス語表示  | Česky      | チェコ語表示   |
|                     | Español                           | スペイン語表示  | Nederlands | オランダ語表示  |
|                     | Português                         | ポルトガル語表示 | Polski     | ポーランド語表示 |
|                     | Русский                           | ロシア語表示   | 日本語        | 日本語表示    |
|                     | Deutsch                           | ドイツ語表示   |            |          |

PIP 設定  
PIP Setting



| 調整項目                  | 画面の状態 / 調整ボタン                                |                   |
|-----------------------|--|-------------------|
| PIP 設定<br>PIP Setting | 入力信号が 2 つ以上ある場合、PIP / PBP 表示できます。            |                   |
|                       | オフ Off                                       | PIP/PBP をオフします。   |
|                       | PIP *  | メイン画面にサブ画面を表示します。 |
|                       | PBP *  | 表示画面を左右に二分割します。   |
| サイズ<br>Size           | Small Small                                  | サブ画面のサイズを小さくします。  |
|                       | Middle Middle                                | 標準                |
|                       | Large Large                                  | サブ画面のサイズを大きくします。  |
| 位置<br>Position        | Right-Up<br>Right-Up                         | サブ画面を右上へ移動します。    |
|                       | Left-Up<br>Left-Up                           | サブ画面を左上へ移動します。    |
|                       | Right-Down<br>Right-Down                     | サブ画面を右下へ移動します。    |
|                       | Left-Down<br>Left-Down                       | サブ画面を左下へ移動します。    |
| スワップ<br>Swap          | PIP 設定が有効な時、メイン画面 / サブ画面または右画面 / 左画面を入れ替えます。 |                   |

- \* PIP = ピクチャー・イン・ピクチャー  
この機能は、2つの異なる画面を表示することができます。メイン画面の中にサブ画面を表示します。
- PBP = ピクチャー・バイ・ピクチャー  
この機能は、2つの異なる画面を表示することができます。画面を左右2つに分割して表示します。

PIP/PBP 入力対応表

| PIP/PBP |       | メイン画面 |       |    |
|---------|-------|-------|-------|----|
|         |       | HDMI1 | HDMI2 | DP |
| サブ画面    | HDMI1 | ○     | ×     | ○  |
|         | HDMI2 | ×     | ○     | ○  |
|         | DP    | ○     | ○     | ○  |

## その他の設定 Extra



| 調整項目   | 画面の状態 / 調整ボタン   |   |                                    |
|--|---|---|------------------------------------|
| 入力選択<br>Signal Select<br><span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">ダイレクト調整</span> | メインソース<br>Main Source   | HDMI1                                       | 映像入力をデジタル入力 (HDMI1) に切り替えます。       |
|  |   | HDMI2                                       | 映像入力をデジタル入力 (HDMI2) に切り替えます。       |
|  |   | DP  | 映像入力をデジタル入力 (DisplayPort) に切り替えます。 |
|  | サブソース<br>Sub Source   | HDMI1                                       | 映像入力をデジタル入力 (HDMI1) に切り替えます。       |
|  |   | HDMI2                                       | 映像入力をデジタル入力 (HDMI2) に切り替えます。       |
|  |   | DP  | 映像入力をデジタル入力 (DisplayPort) に切り替えます。 |
|  | 自動スイッチ入力<br>Auto-Switch Input   | オフ Off                                      | Auto-Switch Input is Off.          |
| オン On  |   | 選択した入力ソースに入力信号がない場合、自動的に入力信号がある入力ソースを選択します。 |                                    |
| DDC/CI<br>DDC/CI   | オフ Off  | DDC/CI をオフにします。                             |                                    |
|  | オン On   | DDC/CI をオンにします。                             |                                    |
| リセット<br>Reset  | はい Yes  | 工場出荷設定に戻します。                                |                                    |
|  | いいえ No  | メニューに戻ります。                                  |                                    |
| インフォメーション<br>Information   | コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。<br><span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">補足</span> 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。 |   |                                    |

### ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- 入力選択：メニュー画面を表示していない時に、◀ ボタンを押します。

## ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- オーディオ調整：メニュー画面を表示していない時に、▶ ボタンを押します。

| 調整項目           | 画面の状態 / 調整ボタン    |
|----------------|------------------|
| 音量調整<br>Volume | 音量が小さい<br>音量が大きい |

- エコモード\*：メニュー画面を表示していない時に、▼ ボタンを押します。  
オフ：標準  
Mode1：バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。  
Mode2：Mode1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。  
Mode3：Mode2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。  
\* i-Style Color, Adv. コントラスト, 色温度の sRGB が有効なとき、エコモードは無効になります。

- Blue Light Reducer\*：メニュー画面を表示していない時に、▶ ボタンを 3 秒間押します。  
オフ：標準  
Mode1：ブルーライトを軽減します。  
Mode2：ブルーライトを Mode1 より軽減します。  
Mode3：ブルーライトを Mode2 より軽減します。  
\* i-Style Color と色温度の sRGB が有効なとき、Blue Light Reducer は無効になります。

- OSD キーロック：

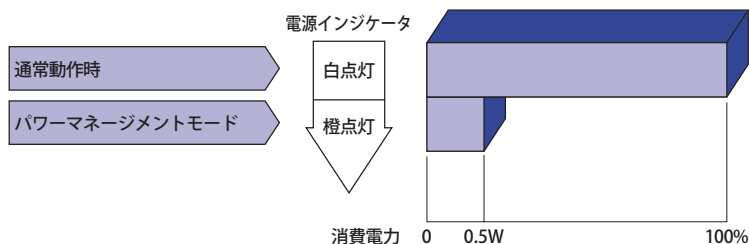
メニュー画面を表示していない時に、▼ ボタンを 2～3 秒間押し続けると、OSD キーロック機能がロック / ロック解除されます。

## パワーマネジメント機能

本製品のパワーマネジメント機能は、VESA DPMS の省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は VESA DPMS に対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

### ■ パワーマネジメントモード

コンピュータからの水平同期信号 / 垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号が OFF 状態になるとパワーマネジメントモード（消費電力 0.5W 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



- 補足**
- パワーマネジメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
  - 水平または垂直同期信号が OFF になっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネジメント機能が正常に動作しない場合があります。

# 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

## 症状

## チェックポイント

- ① 映像が出ない  
(インジケータ点灯せず)
- 電源コードが確実に接続されていますか？
  - 電源スイッチが「ON」されていますか？
  - 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。
- (インジケータ白色)
- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
  - 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？
  - コンピュータの電源は入っていますか？
  - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
  - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- (インジケータ橙色)
- パワーマネージメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
  - コンピュータの電源は入っていますか？
  - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
  - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ② 画面が乱れている
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
  - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
  - コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
- ③ 画面の位置が片寄っている
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ④ 画面が明るすぎる  
／暗すぎる
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？





⑤ 画面が揺れる



- 電源電圧は正常ですか？  
タコ足配線はやめてください。
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

⑥ 外部出力先の音がでない

- オーディオ機器（コンピュータ等）の電源は入っていますか？
- 音量調整が最小になっていませんか？
- Mute（消音）になっていませんか？
- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑦ 音が大きい／小さい

- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

## クリーニング

### 警告

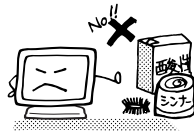
■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

### 注意

■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

### 補足

- 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

### キャビネット

柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

### 液晶パネル

定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

# アフターサービス

## 保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限はお買い上げ日より3年間です。  
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただきます場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの<保証条件>をご確認ください。

## 修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。  
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。
- 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

## リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ  
iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-3570-6374



このマークが表示されている弊社製品は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。詳細は弊社ホームページをご参照ください。  
URL:<http://www.iiyama.co.jp>

# 付録

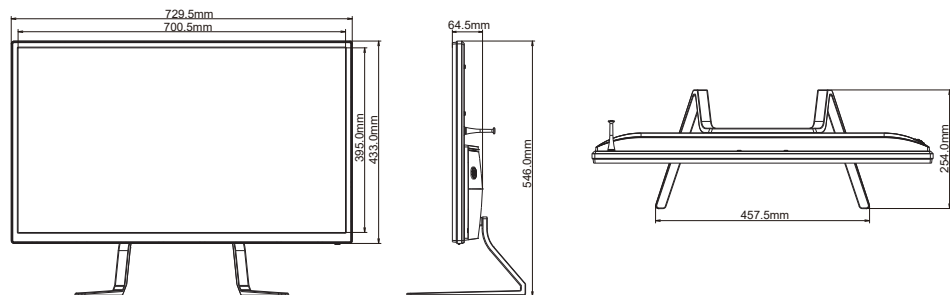
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## 一般仕様

|                    |  |                               |
|--------------------|--|-------------------------------|
| サイズカテゴリ            | 32 型   |                               |
| 液晶<br>パネル          | パネル方式  | VA                            |
|                    | サイズ  | 対角 80cm (31.5 型)              |
|                    | 画素ピッチ  | 水平 0.181mm × 垂直 0.181mm       |
|                    | 輝度   | 300cd/m <sup>2</sup> (標準)     |
|                    | コントラスト比  | 3000 : 1 (標準), Adv. コントラスト機能有 |
|                    | 視野角  | 左右各 89° 上下各 89° (標準)          |
|                    | 応答速度   | 3ms (グレー←→グレー)                |
| 最大表示色              | 約 10.7 億色  |                               |
| 走査周波数              | HDMI: 水平 : 30 ~ 135kHz 垂直 : 24 ~ 75Hz<br>DisplayPort: 水平 : 30 ~ 135kHz 垂直 : 24 ~ 75Hz    |                               |
| 解像度                | 3840 × 2160, 8.2MegaPixels   |                               |
| サポートされている<br>最大解像度 | HDMI: 3840 × 2160 60Hz<br>DisplayPort: 3840 × 2160 60Hz                                  |                               |
| 信号入力コネクタ           | HDMI コネクタ × 2, DisplayPort コネクタ  |                               |
| プラグ&プレイ機能          | VESA DDC2B™ 対応   |                               |
| 入力映像信号             | HDMI, DisplayPort  |                               |
| ヘッドフォン端子           | ø3.5mm ステレオミニジャック  |                               |
| スピーカー              | 2.5W × 2 (アンプ付きステレオスピーカー)  |                               |
| 最大表示範囲             | 水平 : 695.04mm 垂直 : 390.96mm  |                               |
| 入力電源               | AC100 ~ 240V 50/60Hz 1.5A  |                               |
| 消費電力               | 52W (標準)<br>パワーマネージメントモード時 : 0.5W (最大)   |                               |
| 外形寸法, 重量           | 729.5 (幅) × 546.0 (高) × 254.0 (奥行) mm *, 6.8kg   |                               |
| 角度調節範囲             | 上方向 : 12° , 下方向 4°   |                               |
| 環境条件               | 動作時 : 温度 5 ~ 35°C<br>湿度 10 ~ 80% (結露なきこと)<br>保管時 : 温度 - 20 ~ 60°C<br>湿度 5 ~ 85% (結露なきこと) |                               |
| 適合規格               | CE, TÜV-Bauart, VCCI-B, PSE  |                               |

\* 突起部は含まず。

## 外形寸法図



## 対応信号タイミング

| ビデオモード      | 水平周波数      | 垂直周波数    | ドットクロック    |
|-------------|------------|----------|------------|
| 640 × 480   | 31.469kHz  | 59.940Hz | 25.175MHz  |
|             | 37.500kHz  | 75.000Hz | 31.500MHz  |
| 800 × 600   | 37.879kHz  | 60.317Hz | 40.000MHz  |
|             | 46.875kHz  | 75.000Hz | 49.500MHz  |
| 1024 × 768  | 48.363kHz  | 60.004Hz | 65.000MHz  |
|             | 60.023kHz  | 75.029Hz | 78.750MHz  |
| 1280 × 1024 | 63.981kHz  | 60.020Hz | 108.000MHz |
|             | 79.976kHz  | 75.025Hz | 135.000MHz |
| 1680 × 1050 | 65.290kHz  | 60.000Hz | 146.250MHz |
| 1920 × 1080 | 66.590kHz  | 59.930Hz | 138.500MHz |
| 2560 × 1440 | 88.787kHz  | 59.951Hz | 241.500MHz |
| 3840 × 2160 | 67.430kHz  | 29.970Hz | 296.700MHz |
|             | 133.313kHz | 59.997Hz | 533.250MHz |
| 1920 × 2160 | 133.293kHz | 59.988Hz | 277.250MHz |

\*

**補足** \* PbP モードの時に使用することをお勧めします。

## お客様の個人情報の管理および利用について

---

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL [http://www.iiyama.co.jp/article/privacy\\_policy.html](http://www.iiyama.co.jp/article/privacy_policy.html)

## IIYAMA CORPORATION

- 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

### iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応

TEL 03-3570-6374

FAX 03-3570-6375

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。

URL: <http://www.iiyama.co.jp/support/eco/jmos/index.html>

サポートの最新情報(連絡先等)は弊社ホームページに記載しています。

お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: <http://www.iiyama.co.jp/>